



Crisis Responses

バイデン候補、ザッカーバーグ夫妻が登場 コロナ危機にどう立ち向かうか

新型コロナの惨禍を受け、CNNは著名人とのリモート討論を複数回放送。今回は米前副大統領であり、2020年大統領候補のジョー・バイデン氏と、フェイスブックのマーク・ザッカーバーグCEO、そしてその妻であり、幅広く慈善活動を行う医師のプリシラ・チャン氏を招いた。片や政界と、片や民間セクターにおいて大きな影響力を持つ彼らは、このコロナ危機下でどのように考え、行動しているのだろうか。



番組ホスト

アンダーソン・クーバー

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。'95年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。'05年、ピープル誌が選ぶ「セクシーで頭の切れる男性」の1人に選ばれる。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。



番組ホスト

サンジェイ・グプタ医師

CNNの医療担当主任記者で、現役の脳神経外科医。2001年にCNNに入局後、世界の紛争・災害被災地域を現地から報道。'11年にフォーブス誌で「最も影響力のある10人のセレブ」の1人に選ばれ、医療トピックにまつわる多くのテレビ番組に出演している。

73 経済と人々の健康のどちらが優先か



Anderson Cooper Joining us now, Democratic presidential candidate Former Vice President Joe Biden.

Mr. Vice President, thanks so much for being with us.



Dr. Sanjay Gupta Once you start opening things up, Mr. Vice President, more people are going to get infected. That will happen at any point before the vaccine is actually available. How do you think through that in your own mind?



Joe Biden The way I think through that is I err on the side of caution. I think it's a false choice to say you have to choose between the economy and our health. If you don't fix the health side, the economy's never going to get right. We want small businesses to be able to stay in business—from the coffee shop to the hairdresser to the barber shop to the nail salon to the hardware store. But

Democratic: 民主党の
presidential candidate: 大統領候補
former: 前～、元～
vice president: 副大統領

get infected: 感染する
at any point: どの時点でも
vaccine: ワクチン
available: 利用できる
think through: ～を考え抜く、じっくりと考える、熟慮する

err on the side of: (仮に失敗するとしても) 比較的ましな～の方をとる
false choice: ▶本来2択で決める必要がないのに、二者択一とした問題。
fix: ～を直す、元の状態に戻す
stay in business: 商売を続ける、生き残る
hairdresser: 美容師 ▶ここでは美容院の意。
barber shop: 理髪店、床屋
hardware store: (小規模の) ホームセンター、工具店

アンダーソン・クーバー ここで、民主党の大統領候補、ジョー・バイデン前副大統領をお迎えます。

副大統領、ご出演どうもありがとうございます。

サンジェイ・グプタ医師 副大統領、いったん経済活動を再開すれば、感染者は増えていくでしょう。実際にワクチンが使えるようになるまでは、どの時点であれそうなるでしょう。あなたご自身は、この点についてどう考えを巡らせていらっしゃいますか。

ジョー・バイデン この点に関しては、私は用心してもしすぎることはないと思っています。経済か健康か、どちらかを選ばなければならぬというのは間違っていると思います。健康面の問題を解決できなければ、経済は決してうまく回らないでしょう。私たちは小規模事業に生き延びてほしいと考えています——喫茶店から、美容院、床屋、ネイルサロンから工具店に至るまで。